

さらに教育内容の充実を

飛田理事長が年頭の訓示

学校法人金沢学院の平成23年仕事始め式は1月5日、4号館講堂で行われ、飛田秀一理事長が教職員約240人を前に、年頭の訓示をしました。飛田理事長は、私学運営の厳しい環境にあつて、今年4月に開設する「スポーツ健康学部」を安定軌道に乗せ、大学4学部8学科、短大2学科体制の自身を、充実・強化していかなければならないと強調しました。同じく4月に開設される文学部の「歴史文化学科」、名称変更される美術文化学部の「芸術文化学科」についても、これまで以上の学習内容の充実を図るよう指示しました。



年頭の訓示をする飛田理事長

4号館講堂

学生支援を強化

「学生支援」に力を注ぐことにも触れ、就職支援体制の向上、授業内容の創意工夫、奨学金制度の見直し、保健室の体制強化、保護者懇談会の継続・充実など、きめ細かく実施していく。そのことよって、『面倒見が良い大学』としての本学への評価を定着させるべく、教職員一致協力して取り組むよう訓示しました。



講座に取り組む受講生
2K501講義室

厳しき続く就職状況に備え

就職試験対策講座に80人

就職に対する意識と学力向上を図る目的で、年末の12月27日・28日と年始の1月11日・12日の4日間「就職試験対策講座」が2K501講義室で行われました。冬期休業中にもかかわらず、厳しい就職状況に備えて取り組まれました。

好感持たれる自己PRを

短大生、就活に向け面接体験



真剣な表情で模擬面接に臨む学生たち＝短大講義室

1月18日、短大1年生を対象に就職模擬面接が実施されました。面接は、4号館の7会議場で行われ、もうすぐ開始される本格的な就職活動に備え、緊張した面持ちで臨みまし

ルーツに身を包んで参加した学生は、本番さながらの雰囲気を感じ、就職意識を高めていました。面接員からは、入口のドアの開け閉めから、言葉遣い、身だしなみ等の面接に臨む際の基本的な所作・礼儀作法に至るまで懇切丁寧な指導を受けました。

また、決められた時間の中で、いかに自己PRができるかが勝負であり、本学で学んだこと、真剣に取り組んだこと、取得した資格など、自分の良さを誠意を持って伝えてほしい、というアドバイスをもらいました。

元旦継走に今年も参加

元旦恒例の石川県耐寒継走選手権に金沢学院教職員チームは、今年も参加し、雪の降りしきる金沢の中心街を力走しました。今回の第73回大会には、桜井宏之、望月輝、細川亮弥、山本進のメンバーでタスキをつなぎ、結果は1時間7分39秒の115位(145チーム中)でした。朝早くから応援に駆け付けた職員は、寒い中、熱心に声援を送りました。



継走メンバーと応援の皆さん

2月11日から「華展」

金沢学院大学・短期大学華道部の「華展」は2月11日・12日の2日間の日程で、金沢駅前ANAクラウンプラザホテル金沢で開催されます。今年も部員たちが日ごろの研鑽の成果を披露します。